

会員各位

公益社団法人 神奈川県介護福祉士会

新型コロナウイルスによる介護サービスへの影響の調査へのご協力をお願い

会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止に細心の注意を払い、介護の現場でご尽力されていることと存じます。効果的な治療法や予防法が確立されていない中、新型コロナウイルス感染に対する対策が長期にわたって必要となる可能性があることが指摘されています。そのような状況下で、介護現場の負担と不安は大きいものと考えます。そこで、介護福祉士が働く職場における「新型コロナウイルスの影響」について、まずは現状調査をし、**その影響が安全かつ円滑な業務にどのような支障を及ぼしているのかをとりまとめ**、第2波・第3波が発生した際の介護福祉士の安全な業務及び介護サービスの存続のための備えることは喫緊の課題と考えております。

目的

本調査は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が続く中、介護サービスにどのような影響があり、また、安定的なサービス提供のために支障となった事象を調査することで、今後のコロナ禍における、介護福祉士をはじめとした介護サービス従事者及び利用者の安全を確保し、安定的且つ継続的な介護サービスを提供するための対策を、職能団体として神奈川県と共有し、介護福祉業界としての対応を構築するための資料として活用させていただきます。

調査対象

介護福祉士をはじめ、介護サービスに従事する介護職員等

調査主体

公益社団法人 神奈川県介護福祉士会

調査結果

本調査の結果は、当会ホームページ及び会報誌での公表の他、当会が本調査を取りまとめ、神奈川県に提出する「コロナ禍における介護福祉士・利用者ともに安心・安全な介護サービスを安定的に提供するための要望書」に添付します。

ご回答にあたって

おたずねしているのは「新型コロナウイルスにより」としておりますが、おおよそ2020年2月から現在までの期間としてお考えください。

ご自身が主として勤務している事業所で、ご自身が実際に把握・確認された事柄についてのみお答えください。

回答期日

2020年7月22日（水）まで